

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

札幌生まれ、札幌育ちで、水産系の大学に入り
はじめて函館で生活し、就職で東京の食品会社に
3 年ほど勤務。その後、会社を辞めてカナダの
ウィスラースキー場で働き、日本に帰国後、北海
道で水産の研究がしたいとの思いから受験し、平
成 4 年、道に採用。初任地は網走水試の紋別支場
で 10 年間ホタテガイ品質保持などの研究に従
事。その間、7 年かけてホタテガイの研究をまと

め学位を取得し、余市の中央水試に転勤。その当時、中央水試では技術士の資格を持った研究者が数名お
り、勧められるまま勉強会に参加し、2 次試験 5 回目で合格と、技術士になるまでけっこう苦労しました。

平成 22 年、組織の独法化に伴い、法人本部に異動し研究評価や研究基本構想の策定などの仕事に携
わりました。本部勤務時は、仕事を進める上で技術士としての考え方が大いに役立ちました。特に、研
究評価では、技術的課題と問題点は何か、具体的解決策はどのように北海道に役立つのか、などの視点
で各担当者と意見交換できました。この本部の 3 年間、専門内外の多くの研究者や行政等の関係機関の
方と交流を持てることができ、大きな経験と財産を得ました。

現在、釧路では研究マネジメントといった執務室での仕事が大部分ですが、研究ニーズの把握や交流
を図るため漁業者、漁協、企業等のいる現場に足を運び、直接話をするよう心がけています。その中で、
魚価安、生産量の低迷、担い手不足といった課題も出てきています。こうした中、機械化による加工効
率化、鮮度保持による価値向上、流通システムの構築が重要であり、今後、様々な分野の方と連携し地
域水産業の活性化に努めていきたいと考えています。

木村 稔 (きむら みのもる)

●水産部門(水産加工)

勤務先

北海道立総合研究機構
釧路水産試験場 加工利用部



→次号は、森 立成さん(水産部門)

私は秋田県で生まれ、大学の進学を期に北海道
へとやってきました。大学卒業後は転職を重ね、
平成 19 年に株式会社ダイヤコンサルタントへ入
社し北海道支社に配属されました。弊社では、平
成 23 年の東日本大震災直後に、全国の支社より
社員を集めた震災復興本部が発足されました。私
も東北出身ということもあり震災復興本部に配属
され復興道路や高台移転業務の担当者として北海
道と岩手県・宮城県を行き来するようになりました。このような生活の中、平成 25 年に技術士(応用理
学部門)を取得することができました。

北海道では、一般社団法人北海道環境保全技術協会のメンバーとして、環境汚染やエネルギー問題な
ど、一社一組織では解決困難な環境問題について、北海道内の大学・研究機関・コンサルタント、ゼネ
コン各社の叡智を集結し解決に取り組んでいます。このような協会活動を通して、建設工事で発生する
重金属含有ずりの対策方法をまとめた「自然由来重金属等の対策におけるリスク評価マニュアル」と「吸
着層工法設計マニュアル」を平成 25 年度に発刊することができました。これらのマニュアルに関して
は、地盤工学会より地盤環境賞をいただくことができました。

このように社内の先輩技術者だけでなく、社外の多くの優秀な技術者の方々と交流する機会が増え、
貴重な経験をさせて頂いてあります。今後も、多くの技術者からご指導いただきながら自己研鑽に励み、
少しでも社会貢献できる技術士になりたいと思います。

佐藤 明 (さとう あきら)

●応用理学部門(地質)

勤務先

株式会社ダイヤコンサルタント
北海道支社 設計部



→次号は、三浦 亮さん(応用理学)